京城日報
三日夕刊
發行所　京城日報社

○有賀博士を再び顧問に

法律顧問に招聘せられたり（東京電報）

曩に契約期限滿了の爲め歸朝中なりし法學博士有賀長雄氏は復び支那法律顧問に招聘せられたり（東京電報）

○船舶統一協議

二日遞信省に於て田遞相以下の關係者參集船舶統一問題に關する協議會を開きたり（東京電報）

○本多總監通過

海軍々醫總監本多忠夫氏は二日午後七時著列車にて來釜同八時卅分出港の關釜連絡船新羅丸にて内地へ出發せり（釜山特電）

○河野大佐渡歐　西部戰線視察

騎兵大佐河野恒吉氏（元總督府附武官）は歐洲西部戰線從軍を命ぜられ不日に迫りたる爲め三日朝關釜連絡船高麗丸にて釜山著午前十時三十分發列車にて京城經由露都に向ひ出發したり（釜山特電）

○中島醫務部長

全羅北道警務部長憲兵大佐中島[illegible]氏は二日夜入港の關釜連絡船壹岐丸にて釜山上陸同十一時發列車にて全州に歸任せり（釜山特電）

○杉大藏省參事官

大藏省參事官杉榮次郎氏は二日午後七時著列車にて來釜同八時三十分發關釜連絡船新羅丸にて通過歸東せり（釜山特電）

○鳥山法院長歸鮮

平壤覆審法院長鳥山尾彌太氏は三日朝高麗丸にて内地より釜山著、午前十時三十分北行發列車にて平壤へ歸任したり（釜山特電）

●米大統領回答内容

羅馬法王の講和提議に對する米大統領ウイルソン氏の回答は八月二十八日夜發送せられたるが同回答の内容は左の如く結局米國は獨逸が講和條件を發表せざる限り之を平和問題として討議するの餘地なしと云ふにあるものゝ如し

▲歐戰の目的は獨逸軍國主義の打破と其主義に伴ふ獨逸の暴力より世界の人類を救濟せんとするにあれば獨逸は今や進軍を阻止されたるにあらずして全世界の五分の四を敵として戰ひつゝあるも此世界の力は獨逸人民にあらずして其の專制者にあり此の暴力を世界より驅逐するは

▲吾等の義務なり今直ちに法王が提議したる如き方法により講和を締結するは獨逸政府の勢力を回復せしむるものと云ふべく吾人は獨逸の勢力回復を基礎とするが如き平和は締結する能はず吾人は今回の戰爭に於て獨逸が犯したる罪惡に對しては同政府は之が補償をなすべきものなりと信ずると共に

▲恒久の平和は人類の正義と公平と其の權利の上に築かれざるべからずと思惟す吾人は獨逸國民の意思と目的とを表白せる的確なる保障により明瞭に表示さるべきを知らずんば以て恒久の平和を齎すべき事物の保證として之を承認する能はず吾人は中歐の國民が其の目的とする處に關して新たなる證據の表示を待たん事を希ふや切なり（東京）

●物價調節訓令

奸商取締に關する農商務省令は一日の官報を以て公布即日施行されたるが同時に農商務内務兩大臣の名を以て各地方長官に對し之が主旨の徹底を期すべく左の通り訓令を發したり（東京）

近時に於ける物價騰貴は時局に因る經濟界の[illegible]に基くものゝ多き[illegible]（以下[illegible]）

●船舶統一程度

政府に於て近く實行せむとする船舶統一案の内容に就ては其果して如何なる程度のものなりやを詳にせざるも船舶の輸出禁止と對外傭船を禁止するにありて特に[illegible]へ外は悪しく傭船貸船を禁ずると同時に船腹の平均を得せしめ一面物價調節政策に順應せしむる爲め國民生活上必須の食物並に工業原料品等に對し一部の運賃制限を設け且つ場合に依りては航路を指定し政府の必要と認むる方面へ船舶を配給し要求し得るの權能を遞信大臣に於て保持し置かむとするものゝ如し勿論民間の利益を顧みず一概に之を壓迫せむとするものにあらずして要は世界の戰局上日本の立場を考察し一面聯合國側に出來得る限り今一層寄與せむ事を期すると共に他面國民生活上の保安を目的として其間利益の一點に流るゝを防止せむとするにあれば事實上決して船舶の統一案にあらず法案の運用に際しては民間當業者の知識經驗を加味したる委員會を組織して其意見を徴し遞信大臣の名に於て實行を期せむとの模樣なれば實際上の運用は案ずるより容易なるものあらむと當局者は語れり（東京）

●物價調節は當を得たり　●高橋是清氏談●

米穀を始め綿絲布、鐵、石炭、紙等は國民の生活上必要なるが故に基等に對して假需要たる思惑買を取締る事は理論上其要を得たるものにして人氣に支配せらるゝ爲政家の斷行を能くせざる所由惟ふに物價の騰貴は自然的に來れると不自然に來れるの二種あり前者に對しては施策するの途なく若し強ひて施策せば國力の進歩に有害なれど後者に對しては相當施策するを當然とすべし而して不自然の物價は（一）思惑買（二）交通運輸の不充分（三）中間商人の三原因より來るものなれば此三原因に對して適當の對策を用ひなば不自然の物價は取締り得べき譯にして米國の如きは現に法律の力を以つて思惑買を禁止し居れる程なり只注意すべきは思惑買の取締りに對しては十二分の用意を以て公平ならんを要するを同時に一面思惑買の行はるゝ實際には金融業者に於ても之を助くるものなれば金融業者の濫在を防ぐの方法を講ずると共にして私腹を肥やすものに對して嚴重の注意を與へ一、官民一致して國民生活の不安を保持するの覺悟なかるべからず（東京）

●政務總監東上

山縣政務總監は二日朝鄕里長を發し小郡に急行せる遠藤秘書官を隨へ東上の途に就けり

●地査委員會

三日午前九時より總督府第二會議室に第二部高等土地調査委員會を開き鈴木部長以下同委員出席土地査定不服申立に關する件を裁決し十一時散會したり

●夜盜蟲發

京畿道にては又復た[illegible]城郡内一圓に夜盜蟲發生し陸稻、稗、大豆、小豆等に被害あり其の面積百二十町歩に達し又た[illegible]北道管内の錦山郡内にも夜盜蟲發生して陸稻、稗、蕎麥等の被害甚しく其面積五千八百九十八町に上れり兩道にては[illegible]面は目下警察官憲の援助を得て同時に撲[illegible]者を督勵し驅除撲滅中なるが後者は過般の暴風雨に依り殆ど撲滅し盡せるものゝ如し

●師團長檢閲

第十九師團長立花中將は參謀山崎大尉を隨へ二日午前九時三十分羅南發城津に出張したるが三日歩兵第七十七聯隊第三大隊の檢閲を遂げそれより鏡城輸城製鐵所及び同附近等を視察し六日夜歸任し直に[illegible]に於て執行せる野砲兵第[illegible]中隊の射撃演習檢閲の爲め九日午後羅南出發同十二日午前歸任する豫定なりと

●菊池大佐入京

支那駐在大使館附武官菊池大佐は三日朝南大門驛着列車にて入京し朝鮮ホテルに少憩の上總督府に宇佐川總務局長官等を訪問入京の挨拶を爲せり

●鹽澤大佐視察

新任京畿道警務部長鹽澤大佐は三日小平川、新堂里、光熙門外、往十里等の方面を視察せり四日は東大門方面の警察署其他を視察の筈

●有賀博士入京

支那政府政治顧問法學博士有賀長雄氏は三日午前九時十分南大門驛着列車にて入京天眞樓に投宿三日午後九時四十分南大門發列車にて北行の筈

●三宅博士開城行

入京中の總督府嘱託地學博士三宅驥一氏は二日夜汽車にて開城へ向け出發せり

●時永總務課長轉居●　總督府總務課長時永浦三氏は今回永樂町官舍なる前入江理財課長邸（電話五一一番）に轉居せり

●留相場稍持直す

一時三百を割りし哈爾賓の留相場は其後稍持直しの氣味にて本月一日同地相場は三百十留となり倫敦相場十九弗七十錢となりたるが前途下落の氣勢は依然として變化を見ずと

●學校組合委員會

京城學校組合に於て先に委員會に附託となりたる學校新設問題に關する實地調査は豫報の通り九月一日午後一時より大山學務係主任其他の委員出席にて大村、深水、大和、石川の諸議員は陸軍側よりも立會あり寄宿舍其他の土地建物を檢分し組合議員一行は歸路龍山の北側に所在し民團時代より學校敷地候補地として組合に引繼ぎ居りし高陽郡の四千坪をも視察したる由なるが三日は午後二時より右に關する組合委員會を府廳に開催する筈

●京春間自動車不通

二日夜來より三日午前にかけての降雨の爲め道路破損し京城、春川間の自動車は交通不能となれり

●紡織委員調査

朝鮮紡織會社調査委員田邊、萬石兩氏は二日來仁楊花鎭附近及び萬石洞等を視察し水利海運引込線等に就いて詳細なる調査を遂げたるが更に四日午前十時著列車にて來仁數島及び桃山方面を視察する由（仁川）

●穀物商大會と仁川

來る十五、十六兩日京城に於て朝鮮穀物貿易商大會開催の通知を受けたる仁川穀物協會にては二日午後七時より臨時總會開催し提出議案並に出席者の選定等を協議したり其結果仁川よりは與田、松本、吉金、辻川、飯尾、土居、西田、高杉、馬場、力武及び大津の諸氏出席する事に決定せり（仁川）

●元山補助貨拂底

昨年末の補助貨拂底は獨り當元山のみならず全鮮到る所に於て困難を感ずる所なりしが本年も亦七月下旬頃より各商人の手許に補助貨不足し昨今に至りては殆ど皆無の姿となるに至り殊に小賣商人にして剩錢なきため見すく賣るべき品も賣る事を得ざる狀にあり就中甚だしき一例は洗湯の如き一圓紙幣を出す者へは揚札に於て剩錢を出す狀況なるが此の勢にて推移せば此の先如何に成り行くべきやと各商人は何れも痛く困り居れり而して此の補助貨の缺乏は銀行とても同樣なれば此の際何とかして是を救濟したきものなりと一般に苦心し居れり（元山）

●兩課長送迎會

總督府農商工部中農務課員一同は一日午後七時より入兒前農務課長並に青木新農務課長兩氏を千代本に招待歡送迎會を開けり

●井上、赤峰兩氏送別會●　井上、赤峰兩事務官の送別會は三日午後七時より花月に開催さる

●有賀博士着發

支那政府顧問法學博士有賀長雄氏は隨行太田正弘氏と共に北京に赴くの途二日午後九時三十分釜山入港の關釜連絡船壹岐丸にて上陸同夜十一時發北行列車にて北行せり（釜山）

●谷水產課長送別會●　今回忠清南道第二部長に榮轉したる谷多喜磨氏は四日午後六時發列車にて赴任の筈にて同氏は四日午後六時發列車にて公州に家族同伴赴任の筈、因に公州を始め忠南各地方有志は三日同氏の爲め送別會開催

●青島上半貿易

青島に於ける本年上半期の貿易狀況を聞くに輸入二十一萬一千五百五十六噸三千五百十八萬七千五百九兩輸出二十一萬四千六十八噸二千五百九十七萬四百四十一兩合計四十二萬五千六百二十四噸六千百七十五萬七千九百五十兩にして噸數に於ては三千五百十二噸の輸出超過なるも金額に於ては實に九百八十一萬七千六十八兩の輸入超過を示し居れり原因は輸出品が主として原料品粗製品なるに反し輸入品が再製品精製品多き結果に外ならず而して右貿易額を戰前の盛期たりし大正三年の同期に比較するに遙かに之を超過せり故に如上の數字は青島開港以來の新記錄なりと云はざるべからず尚前記貿易額を海關兩に換算する時は三千九百三十八萬六千四百四十八兩にして大正三年上半期の貿易額三千八百九十四萬二千四百八十二兩に比し四十四萬三千九百六十六兩の增加なり（青島）

●東洋銀行進捗

松浦代議士及び奉天松浦吉藏氏等計畫の東洋銀行は支那側株主（四十七人）の結束頗る鞏固なるが元來同銀行は支那側の希望より起りし其目的も主として支那側家屋其他の不動產擔保に對する貸附を主眼とする頗る時宜に適せるものなるより支那株主は日本法律の下に自由に營業し得る安全なる銀行の設立を熱望し居たるも從來の困難なる事情あるを以て更に其成立は奉天の有力者なる中江十五郎、向野一、笹部杉一、餘村松之助、谷義隣諸氏に長春の藤田、加藤政及び和洋行、遼陽の西村多三郎、大連の松本米吉（實業家）氏等を參加せしめ又支那側に於ては[illegible]寶珊（東三省官銀號）劉鶴臣（華商銀行）牛翰臣（茶商）李鎭侯（雜貨）楊恩普諸氏を重なる出資者と定め邦人側中中江、向野二氏は其中堅として專ら奔走する事となれるが目下中江氏は病氣入院中なるを以て近く其退院するを待ち松浦代議士も來奉し發起人會を開きて其進行を圖る由猶發起人側に於ては關東都督府に對し該銀行設立計畫（資本金二百萬圓）日支半額宛負擔き不動產及び農業資本に對する特貸を主眼とする事に就き其內意を質したるに相當の發起あらば差支なき旨言明したりと（奉天）

□内地電報不著

三日内地朝鮮間の電信線に故障を生じ爲に夕刊締切時刻に至るも東京其他より發したる電報到著せず止むを得ず大部分朝刊に掲載することゝしたり

●都督歡迎準備

中村新都督は巳に沿線巡閲の途に就き來る八日頃奉天に來著し張督軍をも訪問する筈なるが張督軍は舊交ある中村男を都督として大に歡迎すべく同日は馬交涉員及び軍副官長を停車場に派して迎接せしめ又軍署に於て盛大なる招待宴を開催する筈にて準備中なり（奉天）

●間島だより

▲鮮民訴願其後　和龍縣管下鮮民四百餘名は支那官憲の不法稅捐に對し訴願せんとの意圖より七月末局子街に集まり再三支那當局者に願意を述べ結局八月十七日を最後とし代表者數名は延吉道尹公署を叩き嘆述訴願する所ありしも稅法の定まる所道尹の權限を以て猥りに改廢するを許さずとありて同訴願の目的は終に達せざる事となりたるより代表者は更に轉じて其旨局子街領事分館に嘆願するに至れりと

▲領事に頌德表　本年六月際會せる暴雨の被害地大佛洞附近の鮮民に對し我が官憲は救恤金を發し救濟する所ありしが被救恤鮮人代表者二百廿五名は八月十八日緝地に凱旋鮮か左の頌德表を鈴木領事に贈れり

伏惟頌德
窮阪流芳、普渡慈航
災民明國、無前王章

▲久原社員視察　久原鑛業甲山銅鑛主任島田利吉氏は理學士藤村幸一氏同伴天寶山鑛山視察に赴けるが視察後島田氏は歸途に就き藤村氏は當分間島に滯在視察の意圖ありと（間島）

晋州

▲晋州の天長節（一日）　鮮人共に國旗を揭げ祝意を表し各學校にては午前九時より全生徒を集め今上陛下の御眞影前に校長の心得等に就て各校長より訓話をなせり▲東田事務官歸晋　釜山、馬山、各方面に出張中なりし本道事務官東田鎬氏は三十日歸晋せり▲佐々木道長官歸晋　久しく鄕里に歸省中なりし道長官佐々木藤太郎氏は三十日馬山自動車便にて歸晋せり

人事消息

▲大田正夫氏　三日朝入京朝鮮ホテルへ
▲松井房治郎氏（元山稅關長）　三日朝入京龍尾旅館へ
▲吉田道雄氏（日本生命保險會社員）　同上不知火旅館へ
▲小野升平氏（總督府技師）　二十七日附高陽郡内へ出張を命ぜらる

□西朝鮮巡り　別府生

四斗餘の握り飯（黃州にて）

▲西鮮主要地觀見のため、一日午後九時四十分南大門驛發列車にて西行いたし候。水々しい十五夜の滿月、晴れたる中空に懸り、初秋らしき氣分の漲れる窓外の野と山は、薄明なる月の光りを浴びて綿の如く眺められ候

▲列車は小驛をブチ拔いて疾驅し、時々夢を驚かされつゝも、淺き眠りを續けたる寢臺の[illegible]……、フト後部に連結せる[illegible]の數百の[illegible]起きて、何となく不穩らしく見え候。[illegible]下車の如く見れば、車外に群つて口々に何事か罵り合ひつゝあり

▲[illegible]兼二浦の三菱製鐵所に[illegible]採掘鮮人二百二十名[illegible]午前二時と云ふに[illegible]

▲何でも鮮人等の口々に喚く所によれば、前日の午後四時すぎ、太田に少許の夕食に有りつきしのみ、團體の世話役は南大門に落かば喫飯せしむと稱しつゝも途に與へず、一同腹は減つて前途の旅行到底困難なりと云ふにあり、明治の鮮人が二三驛先の黃州に辨當の用意ありと、いかに說きすかして宥むるも、結局人夫等は耳にかけず、不穩の言葉を發しつゝ其の集團は集札口に向つて漸次殺到致し候

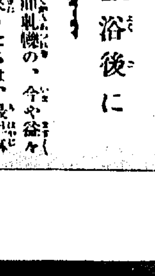
▲之れだけの事を聞けば[illegible]思ふにこの紛爭は、製鐵所對鮮人勞働者の間に、意志の疏通を缺ぐ事件あるか、若くは鮮人等に何か面白からぬ計議あるためならん、何となれば馬洞の如き一寒驛にて、二百餘名の鮮人が夜中下車したるは、彼等の表面は日々に望みつゝあるて、喫飯は到底得られざる可くとも之れを知りて橫に車を押し居るゝもの、如ければ也、お蔭で汽車も幾ら遲れ、小生も黃州迄目を覺し候

▲午前三時半黃州下車、兼二浦行き一番列車を四時間餘り待つため、驛前の一旅舍に入り候、その女中の云ふ所によれば、件の鮮人團體の一行は三菱の依賴により夜を明かす爲め、來家中悉く一睡もせず四斗餘の飯を炊き握り飯となしゐたる由、然も團體は來らず、山と積まれし握り飯は空しく驛の構内より運び戻されたりと、仲々な不平らしき女中等の態度も無理からずと思はれ候

▲小生は六疊の部屋に案内され始らく眠らんと致し候處、女中蚊帳を吊らず……必らずしも虐待の意味ならざる如し……就いて恐る／＼伺へば、此部屋は前夜から蚊火を入れませんですよ……と、小生と同じ列車より下り、隣室に入りし客も、同樣の問答を重ねつゝあり、閉て切つてゐた旅館の一室、灯を入れず、閉て切つてゐた旅館の一室、そこに地方的の氣分を嗅ぎ出したるやうの氣が致し候（二日午前七時認めたもの）

○獨、墺兩國軍の、今や窮々其の度を加へ來りたるは、最早事實として、公然出現するに至れり。其最も有力なる、證據の一として、伊太利戰線に於ける墺軍が、連戰連敗、倉皇急援を獨逸に訴ふや、參謀總長ヒンデンブルグは、直ちに之を拒絕せり。墺軍爲めに各地に破れ、墺帝亦親しく其退却を觀る、其憾や奈何。獨。墺の離隔は、やがて中歐同盟の崩壞也。獨逸愈孤立か、獨逸の勇あるや、否や。

○米獨開戰以來、株式界は、更に物價調節に依て、將に最後の致命傷を蒙らんとし、活況一轉急轉直下、沈衰に輪落すべき前兆を示せり。蓋し然として、大小成金をして、顏色なからしむ。榮枯盛衰は世の常也。過ぎし驕奢の夢を想ふ、亦風流ならずや。



浴後に

□赤病餘の人に無之候

三十一日附箱根より（[illegible]太田氏より）

俗塵已に斷して靈氣山に滿つ湧遊三日亦病氣の人に無之候手を取つて相慶する近き事と存候

□岩崎男の買收せるモリソン文庫□

支那の政治顧問モリソン氏は新聞記者として又たモリソン文庫の主人として世界に著名なるが、前後二十年の長き歳月を費して熱心に蒐集せる各國語の書籍（支那を主として亞細亞、印度、日本、南洋等に關係ある政治、經濟、法律、歷史、地理、文學、美術、動植物等）は今や其數約五萬の多きに達し、之れ東西の兩研究者に開放し、久しく東洋研究家の寶庫として聲價を有したるが、今回岩崎久彌男の手に歸したり。

●兌換券が益々殖える

日本銀行始つて以來の新記錄
船毎に流入る金塊は驚く計り

「日本銀行始つて以來こんなに兌換券の發行高が殖たためしはありません」と目下東京に於て正金銀行の分支店は語る「世界戰亂のお蔭で我國は…

▽遂に富國の仲間入りが出來た譯ですが、それが何樣一夜の…

▽外國から這入つて來る金塊…

▽分析試驗をした上で金塊を引換に…

▽影響から一般銀行が日本…

▽記錄破りです、若しも猶此勢ひで外國から金塊が流れ込んで來るやうなら今年の十二月には紙幣の發行高が七億以上になるかも知れません」と又他の一員は曰く「我々行員は金塊が這入つて來たと聞く度毎に冷りとさせられます、云ふ迄もなく金塊が這入つて來れば兌換券の發行は…

▽正直な話が餘り金が殖ゑるのは我々には大禁物ですからね…

◆獻上煙草發送

總督府度支部專賣課に於て…

▽早い話が廿九日に横濱へ入港したペルシヤ丸とエンプレス、オブ、ジャパン號とが載せて來た金…

●漢江鐵橋の竣成

落成式は十月匆々擧行されん

總工費八十六萬圓を以て大正五年四月より起工せし漢江鐵橋は其の後…本流一千四百尺、支流六百尺の大鐵橋も今や板張の一部を餘せるのみにて殆ど竣成を告げたるより總督府にては九月中に假渡並にペンキ塗…となる可し

金部の仕上を了へ十月匆々起工式を擧行す可く昨今其の準備中なり因に同橋側に架設す可き仁川水道引水鐵管取付工事は目下内地より材料の到着中なれば全部の據りを俟つて着手す可く其の竣成通水を見るは明年末…

●山嶽崩壞して五名生埋め

内地各地方に於ける大雷大雨

丹後舞鶴地方は一日午後一時頃より大雷雨あり落雷の個所もありしが加佐郡行路下村字二箇の大迫谷と稱する山麓の農家若崎なみ方にて猛烈の爲め小家を催したる後ち家人一同司寢の眞最中俄然山嶽崩壞したるため五人の家族一同生埋となり内一名丈けは救助せられしも他の四名は悉く慘死したり（大阪特電）

▲雷に打れて震死

九月一日夜半岐阜地方に大雷雨あり若村近鐵不通となりたるが落雷の爲め震死せしもの惠那郡に一名、加茂郡一名ありたりとの報あり（大阪特電）

▲未曾有の大豪雨

金澤地方にては九月一日夜半より今朝に亘り未曾有の大豪雨あり出水の個所頗ぶる多しとの報あり（大阪特電）

●怪しき米人要塞地を撮影す

去る三十日長崎稻佐山方面一帶を窺ふ北米人…米國人要塞地を撮影せしため同地に於て目下取調中なりと（大阪特電）

●豪雨と出水

京城市中各所の被害

九月二日夜來の豪雨にて京城にては僅かに出水あり本町署管内にて下水溝の濁流上に溢れ

▲床上に浸水

したるもの二百九十八戸床下に浸水したるもの二百九十六戸あり此の損害約五十七圓南道路の破損したる個所もあり鍾路署管内にて床下一千二百七十一戸、床上百二十六戸あり鍾路四丁目韓一銀行倉庫一棟雨の爲め倒壞し東大門外田畑の浸水して…

▲消防隊出動

三日午前三時豪雨となりたる爲め黃金町消防所に於ては清溪川水標附近に於ける出水状況調査中同三時三十分に至り同橋附近に距る約五寸の増水となりたるを以て水防の必要を認め鮮人消防員十三名を以て三隊を編成し一隊を水標橋附近に一隊を河橋附近に一隊を蓬萊町に出動し警戒に當らしむる所ありたり

▲長湍方面

色內家屋多數浸水したるも人畜死傷なし

▲江原道方面

三日午前九時江原道鐵原延江增水九寸五分降雨猶歇まず僅かに二三時間の後には交通杜絶の見込なり

▲蔬菜の流失

したるもの約二千五百坪（損害約七十圓）に達せり其の他下水溝の浸水損害十餘箇所あり交通衝洞にて電車軌道浸水破損し電車運轉一時中絶したり

●豪雨と仁川附近の出水

仁川附近は三日午前三時頃豪雨ありたる爲め不時の出水を來し之れが爲に金谷里十三村天根外八戸牛角里派出所外七戸松峴里支部汝外二戸は床下約五六寸程浸水し松峴里及び金谷里約五町歩餘の畑地は浸水し同里小橋の流失したるが二ケ所家屋の外壁崩壞したる者一戸花牛里方面は浸水家屋卅二戸に達したり外里方面にも被害甚しく…

●便所內で割腹

黃海道松禾郡北下面五井里李稱健（三）は長男某（二）が先頃無斷家出したるより之れが搜査の爲め此の程入京し休康洞六十九番地朴洗飾方に滯在中俄かに發狂し九月二日午後四時四十分頃洗飾方の便所に入り隱し持ちたる小刀を以て陰莖を切斷し腹部に深さ二寸五分長さ三寸位の切りつけ自殺を遂げ居るを家人が發見し急報に接し鍾路署より係官出張し取調べたり…

▲石垣崩壞す

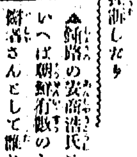
仁川仲町仁川ホテル上山手町鈴木倭氏別莊石垣は高さ二丈以上に達し從來屢々崩壞したりしが三日午前九時頃俄然一大音響と共に約三分の一以上崩壞したり損害は目下取調中なるが原因は夜來の豪雨の爲めなりと

●伊勢灣に蜃氣樓

伊勢灣内三重縣河曲郡一の宮村字長田海岸に非常なる蜃氣樓出現せりとの報あり（大阪特電）

●天理教松村大教會長重態に陷る

大阪府下河内國府安天理教大教會長松村吉太郎氏は府下に重態なり…（大阪特電）



▲新聞の安藤浩氏といへば朝鮮街燈の…

●傳染病

全北茂朱郡邑內山本とこ（三）は痢疾受診の爲め入京し九月二日アメリー商會診斷京城府長沙洞百八十三番地早川泰（二五）栗二洞百九十九番地熊谷うめ（一三）は二日何れも赤痢と診斷又昌信洞二百九十九番地金玉鉉（三）は二日腸窒扶斯と診斷さる

◆警察署の野菜の山

京城にては傳染病流行當時として豫て洗滌したる蔬菜類の販賣方を禁止しあるにも拘らず近來之れが販賣をなすもの夥しきより鍾路警察署にて九月一二日の兩日は市中を巡回し洗滌せざる野菜を悉く押收したるに警察署構内には大根菜つ葉の山を築き何れも相當處分せり

●壞塞破壞事件

住所不定韓泰洙（二）及び昌化郡南山面上里遁洪乭（二）の兩名は共謀し昨年十月同里金某の墳墓を發き屍骨を取り出し金玉某に對して金十圓及び金五十圓を交換すべし若し應ぜざれば屍骨を河に投ずるか又は某所に埋すべしと脅迫して二回に金二十圓を強奪したる事件は二十九日午前地方法院に於て各懲役十年の宣告を受けたるが二名共之れに服せず即日控訴したり

讀者文藝（三等に五十錢を贈呈す）

●正誤 九月二日本紙夕刊第二面速斷覆學九伊太利へ（神帆を間せる船中）はさくら丸はさくらとあるは（四）「アドロフ」は「アクロフ」の誤植に付訂正す

▲下付けの間違へて居ても笑へぬ且那寂 山深造

▲…

▲…

商況

大阪株式

大阪三品特電

大阪期米特電

雜報

●三品反撥す

値に接近原棉の採算

漸く灰汁拔

米棉八九十錢安

圓九十五錢先限二百八十一圓と急激の反撥

態脫浮動狀

●小麥は亂調

押し氣配は次第下

圓三四十錢移出口十

●地場正米氣迷ひ

値に當り七千叺に逆

十錢内外の上

頃聊か氣迷ひに

●洋藥次第高

防疫用の藥品暴値

●牛蠟見直す

在荷消化

●精白米値下げ

二十六圓臺に

十錢高の二十二圓六七

安值二十一圓小賣

直方引下

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

釜山穀物

生魚市場

仁川期米

▲三日前場

六十丁の大暴落

跳返す

天候晴

大阪六節五十

仁川米豆取引所

三日の十一月限

▲大激戰大商盛

北濱たより

▲株界の混沌と人氣

市場寥閒

▲暴落跡跳返す

呼び新規買現

急激の暴落に利喰

▲期近暴落す

乘り替物現

▲續て不勢

▲調節令と人氣

生果市場

株式會社仁川米豆取引所仲買人

全 高田仲買店

●定期米賣買委託 電信略號盛御 一般米穀御錢

●商金御注文は 紹介なく不要候

仁川海岸町 三丁目 振替三八一 電話長一〇〇 電話長一一九

偽造ご注意 …

謹告 …

聘集規定 …

天氣 曇り時々晴れ

歐洲婦人の目覺しい活動
戰爭中に於ける各國婦人の後援事業

國に一旦緩急あれば、義勇公に奉ずると言ふ言葉がありますが、それは多くは男子の行ふ事で、婦女子迄其の衝に當ると云ふ事は稀であります

◆處が今度の歐洲大戰では 舉國一致の實といふものがよく舉つて居ります、譬へば英國でも佛蘭西でも、此の過ぐる三年間に撰んで所有男子の力を軍務に集中させて居ります、從つて其後方に人の力が足りないので、六十歳から十歳位のものまで、力に堪ふる者は婦人子供にも夫れ〴〵仕事を與へて、戰爭の遂行に從事して居ります、是れが擧國一致の實で、婦人すら電車の車掌、汽車の札賣、

◆さては妙齢の女學生が 百姓の仕事をして人の手の足らざるを補つて居ります、從來西洋の婦人は男子よりも位が高く、社會上にも家庭にも優等な位置に居たやうに思はれましたが、今度戰爭となるとソンナ事は考へず、粗服に短かい袴、簡單な帽子で、眞黑になつて毎日木樵の眞似をしたり、乘合自動車を運轉したりして、社會の機關を動かして居ります、これこそ眞の後援とも云ふべきで

◆只戰場へ慰問袋を贈つたり金錢を義捐したりするだけが立派な仕事ではありません、茲で獨逸國の事を賞揚するのではありませんが彼の國では昨年貴婦人達の發起で新聞に廣告した上一般から銅の鍋を募集し始めました。之の鍋を持つて來たら代りに一個の鐵鍋を與へるのですが、此の鐵鍋には「獨逸の家婦の奉公心、銅を以て鐵に替ゆ一九一六の世界大戰に於て」といふ文句が彫出してあります、之れは獨逸で銅が缺乏した爲め許りでなく

◆眞に家婦達が國家に 奉公しやうと思つて行つたのです、昔し我國の鎌倉時代に出征軍人の妻や娘や妹などが其武士に對して矢の根を鍛けにし、そしてから云つた「此の矢の根にて天晴の敵を射とめ名を末代にまで輝かして下さい、決して空矢を使つてはなりません」とそれ故此の矢の根を帶びて戰場に向へる武士は心に勇みがあるので、孰れも戰場で勇戰した、それと是れとは異なれども婦人が男子を勵ます點に於ては同じである、のみならず

◆此鍋は後の記念ともなり 國民精神の上に非常な効果を與へます實に敵ながら天晴の心掛と思ひます此外英佛伊國抔で行つてゐる婦人の後援事業などは數へ切れぬ程あり又獨逸のそれに優るものもありますが右は其の一例として舉げたに過ぎません、戰國の中に入つて居る我國今日の婦人達は、今實戰がないからと云つて只遊樂に走る樣ではなるまいと思ひます(某教育家談)

鯊釣の好時季
不案內者の注意すべき數々

此頃の仁川は鯊シーズンで何處の海岸へ行つても好釣家で賑ふて居るが就中場所の宜いのは猫島附近及び月尾島で朱安水道は最も有望と目されて居る丈あつて一寸熟練さへ積めば

♣手に隨つて釣 れるので興味は仲々盡きない然るに京城方面から乘込む好釣家は何れも失望して歸る樣であるがそれは釣漁の時期や海岸の事情に通せぬからであらう一體鯊は餌にかけては全く愚鈍な魚で朝鮮人なども釣を用ひずして巧みに釣る程で此の

♣愚物が滿潮時 には潮に乘じて無數に沿へ沿へと寄せ來るのであるから釣としては極めて容易であらねばならぬ先づ釣の方法としては普通は晨干潮時頃海に出で愈々潮の滿ち初める頃ほひから釣を垂れて潮に隨つて順次後退るので常に腰部以下を水に濡す位でなければ宜い獲物はない

♣釣の時期は滿 潮迄で干潮になると鯊は潮に先んじて沖へ沖へと去つて了ふのであるから此の呼吸を計つて絲を垂れねば如何な名手でも失望に終るのは當然である場所としては石の多い處が宜く沙地よりもガタが宜い尚ほ

♣家族的の娛樂 としては小舟を傭ひ潮に乘じて絲を垂れたならば老幼の差別なく興味を感ずるであらう京城方面の好釣家は以上の諸點に注意せねば折角の遠征を無意味に終る、地勢を不案內では危險が伴ふから出來得る限り土地の經驗家に就いて學んだが宜からう(仁川)

警察官の體格檢查 內地人は皆小さい

仁川警察署では今度署員の體格檢查を行つたが其結果を見ると署內で一番重いのが徐巡查補の十八貫百匁二番が許巡查補の十七貫六百匁三番が鄭巡查補の十七貫五百匁其他にも

▲十七貫匁口は 數人あるが內地人側では篠村巡查部長の十七貫八十五匁を筆頭に石巡查の十六貫八百匁などが僅かにデブ黨の爲めに氣を吐いてるのであるから朝鮮人側に比して甚だ

▲貧弱寂寥を極 めて居る譯である署長は肥滿して居る樣でも近頃衰弱した爲めか十四貫五百匁及川警部は痩せてる樣で十五貫六百匁以上もあるのは大分酒精分のお蔭があるらしい輕いのでビリから一番は署の[illegible]巡查補の十一貫匁背の高いので評判なのは高巡查補の

▲五尺九寸三分 內地人側は何れもピリ辛いので小粒だらうとはさもあらう(仁川)

湯屋遂々値上

折角客足を引かうと湯錢の値下げを斷行した仁川湯屋組合は既報の如く石炭は暴騰するに反して客足は減切り夏枯れて了つたので此のまゝで行けば共倒れの畑も消ね兼ねまじきに堪へ兼ねて組合員協議の結果九月三十日迄今の湯錢にしたが値下げも氣が早ければ一箇月も早く撤廢も氣が早い然し何も彼も流して了う處が湯屋のアカぬ處だらう(仁川)

築港の人夫
悲慘な雜役夫の群

土木局仁川出張所にては港內浚渫作業及び築港に職工人夫を一日平均八百名位使役しつゝ有るが其內五百五六十名は石工水夫等の常傭の職工他の二百五十名許りは土掘其他雜役に從事する人夫で此れを內鮮人に區別すると內地人二百名鮮人六百名である彼等の日收は常傭で內地人六十錢より二圓內外鮮人は四十錢乃至六十錢位迄であるが他の雜役夫なる者は

□其日其日に依つて增減があつて使役員數は制限する事になつて居るから昨今の如く勞働者過剩の場合では大分アブれる者もある相である其の日給は內鮮人共に四十錢で其日拂ひは三十八錢五厘の手取十五日三十日拂ひは四十錢と定めてあるが其日暮しの

□勞働者の事であるから大部分は立替人に一錢五厘の手數料を徵されても日々の支拂を受けて居る併して物價騰貴の折柄內地人の雜役夫中には一家數人の糊口を凌いで居る者が多いので三十八錢や四十錢の日給では如何とも爲し難いが

□働かねば飢ゑるから早朝から先を爭つて門傭に詰めかける樣は悲慘な者である因に

連絡船上陸客

二日午前八時釜山入港 [illegible] 二百十六名 [illegible]

京城神社神前結婚

今春より最近まで京城神社にて神前結婚をなしたる重なる者の氏名左の如し但し特に本人の希望によりて掲げざるもの數十名あり

男	女	媒酌人
實業家 深谷留三	井上靜子	三田商會主 堀尾潔
仁川鐵道技術長 緒方久	田村玉枝	佐渡秀光
二宮醫院長 二宮亮吉	アキ子	官吏 矢野兩太郎
島村新右衛門	中[illegible]	工藤北平
官吏 田端昇	秋山園子	小竹武次
松村重一	宮澤俊文子	石井吉次郎

朝鮮全道神職大會

既報の如く來る八日より六日間京城仁川に開かるべき第四回朝鮮全道神職大會の重なる事項は今後神職會を組織して總裁に政務總監、會長に內務部長官又は地方局長を推すこと其他會議事項としては(一)神職にあらざる者が神官の制服に擬らはしき服裝をなし又は恣に加持祈禱をなすことを禁止され度旨の建議をなすこと(一)神職大會は毎年秋季之を開催する例なるも此の季節は各地とも大祭を執行する時季なれば其の開會期を繰上げて夏季土用休暇中となす事(一)皇典講究所の分所を朝鮮に設け朝鮮に於て神職の養成をなすこと(一)大會の開催地は毎年輪番に各地の神社所在地を會場に定め會員各自の視察見學に資すること(一)神社には必ず常置の神職を置くこと若し已むを得ざる場合は年限を定めて附近の神職を兼務せしむる事を建議する件其他會計上の事項並に諮問事項等なりと

日本基督教會の音樂會

長谷川町日本基督教會婦人會の主催に係る音樂會は九月四日午後八時より開催、其曲目は左の如し [illegible]

▲第一部 一合唱(會員) [illegible] ▲第二部 七合唱(會員) [illegible]

藻の砂

■米國水兵の亂暴 長崎に碇泊中の米國軍艦シンナチー號乘組の三等水兵アレキサンダーロース(一七)といふ者は [illegible]

■危ないたら [illegible]

■明大學生殺さる [illegible]

■大賊は僧侶 [illegible]

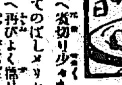
■でラリヤ燃ん [illegible]

■墮落した女教師 [illegible]

向仲訓導の訃

[illegible]

精進料理 はんぺん



▲はんぺん一魚 [illegible]

大正六年度辯護士試驗合格者

三浦末壽 飯田久美枝 [illegible]

演藝案內

黃金館 電話三三六七 [illegible]

壽館 電話五七八番 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇 [illegible]

有樂館 [illegible]

稻荷座 本町五丁目 [illegible]

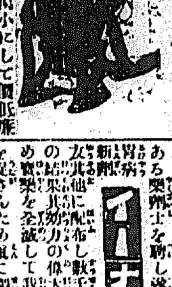
産婆生徒募集 規則書要郵券 京城府外水登里町 福岡産婆養成所

軍隊毛布 夏は毛布の買ひ時である 東京神田 東京織物仲繼店

事務員募集 三菱製鐵所

梅毒新劑 唯一丸 恐るべき梅毒 發賣元 中西清吉

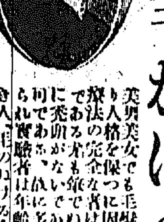
期米 曾我商店



製麵機械 眞崎麵機店 電話下谷

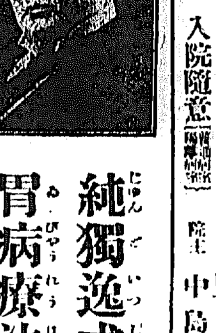
ちゃや 南質店

男の生殖器病 眞空療法研究所

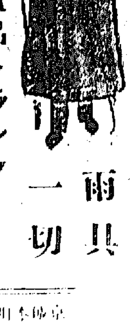


なぜ毛がはへるか

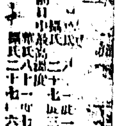
內科 小兒科 中島醫院 京城府明治町二丁目 院主 中島貞信



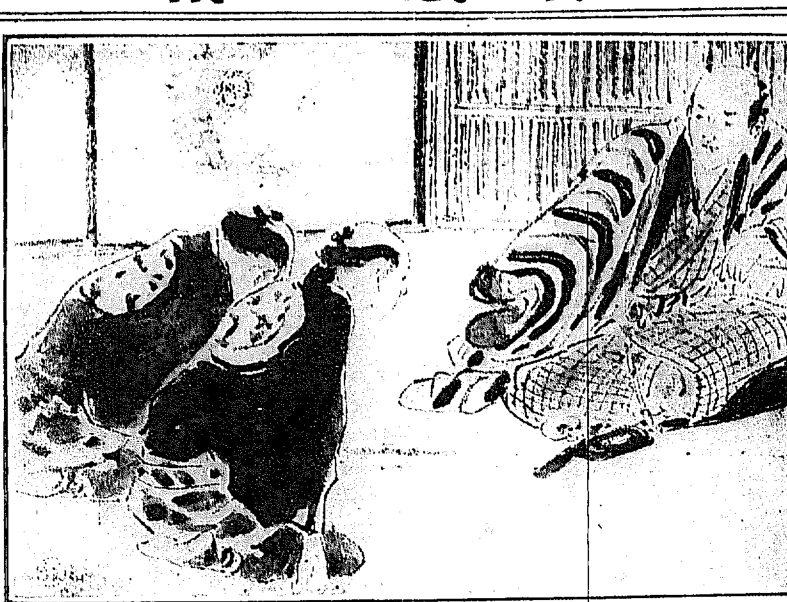
純獨逸式胃病療法 イーナー



雨具一切 □柳製專賣品トランク □雨合羽防水布引マント □魔法瓶及中瓶取替 □蛇ノ目雨傘番傘小供學校行傘



氣象報 [illegible]



左甚五郎

第十六席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

政右衛門が手分の者を並べて小言を云ふと、若い衆は皆な頭を低げて○「エー金殿、兼公と相談をした處が兼公の野郎が何うせ碌な仕事は出来ねえから板削りでもさせたら宜からうてんで」政「兼公」兼「ヘエ」政「何故ボン州に板削りをさせた」兼「イヤ俺にやア無ねんで、勝の野郎が板削りを……」政「勝、汝か、ボン州に板削りをさせたのは」勝「然うじやア無ねんで、爲の野郎が板削りが宜からうと云ひましたので政「爲、汝がボン州に胸明けたのか」爲「何に宗の野郎が」政「宗、汝何でボン州に板削りをさせた」宗「ヘエ實は……」政「誰れ居ねえじやアねえか」宗「成程」政「成程じやアねえや、板削りなんぞをさせやアがつて明日からそんなことをさせちやアならねえ」と叱つて他の者が小言を云はれた、翌日になると又仕事場に出て行つた」兼「オイボン州」甚「ハイ」兼「今日は気の毒だが穴を一つ道つてくれ」甚「ヘエ」甚「ヘエ」郎板削りをさしたと思つたら今度は穴を道やアがる、人を馬鹿にしやアがつて容易に穴を彫るものか、見やアがれツて云ふので一ッ／＼道つて居るけれども、何をして居るのだか埒があかない」勝「まア宜いや」と棟梁が酔興であんな者を引張りこんで来たんだ、何を爲て居たつて構はねえ、此方は此方だ」と云ふので他の者はドシ／＼仕事をする、剰隙になりまして兼「さア／＼行かうぜ」爲「オー片付けて、奴早くしろ、さアボン州行うぜ、オー何うした」甚「ヘエ」爲「ヘエじやアねえ何うした」甚「道つたよ」爲「穴は出来たか」甚「ウン出来た」爲「其個彫つた」甚「一ツ……」爲「オヤそれ見ねえ、是だ、棟梁は判らねえよ穴を彫せりやア一日に一ッだツて云やアがらア、大變手間が取れたな」甚「何うも骨が折れた」爲「甚しいな、骨が折れたとよ、一ッの穴を一日かゝつて彫つて骨が折れて堪るものか見せてくんねえ」甚「イヤ何うも能く出来た、是は普通の作料じやア合はねえ」爲「何だッてと」穴を覗いて見ると穴の中に千疋猿が彫りかけてあります」爲「オヤ／＼つまらねえ真似をするぢやアねえか、別に作料が餘計取れる譯じやアねえや、穴の中へ千疋猿を彫つて居りやア一日に一ッしか出来ねえのは當然だ、まア仕方が無ねえ行う／＼」と皆な立騒りよした」兼「棟梁只今」政「何うした、今日は何をさせた」兼「エー、彼奴は棟梁駄目ですね、今日は穴を道らせまして」政「他のことをさせりやア宜いのに仕方が無ねえ、何うした」兼「一日かゝつて一つ彫りまして、それで大概骨が折れた、普通の作業なやア叶けねえなんと云ふので、何でそんなに手間が取れたかと思つて穴の中を覗いて見たら、千疋猿を彫つて居るんで」政「汝達は碌なことをさせねえからそんなことをするんだらう、まア宜いや、明日から仕事に伴れて行くのは廢せ」兼「エー其方が宜うござんす、あんな奴と一緒にされた分には俺共は堪りませんからね」政「宜いやボン州此方へ来な」甚「ハイ」政「碌なことを云やアがつて叶けねえから今度は俺が何處かへ行く時に一緒に行きねえ、まア當分は仕事に行かねえで遊んで居るが宜い」甚「然うですかね、それじやア明日からまア當分遊んで居ませう、其の方が俺も宜いや」甚「い奴があるもので、翌日から仕事に行かないで……居る。

新築落成 入院隨意
京城明治町一丁目
胃腸病院
院主 佐々木杏造 電話一六五九番

九月五日 九星
丙七月十九日 庚戌
本命二黒中宮 先勝

ルーデサック 特製品
A十個四十錢 B十個六十錢
京城 山田文殊堂

明治町三丁目
易 周介石堂
岡村介石

りん病 ばい毒
一週間分 梅毒 淋病
京城本町二丁目交番北
ドラッグ商會

繭嶋保太郎 用事ある居所しらせ
大阪九町三 廣瀬恒吉

胃病良薬

歐米に行はるゝ家庭治療法

とは佐多博士の言はるゝ通り家庭に常に「胃活の如き」健胃剤を貯へて置いて所謂家庭の常備薬として男も女も老人も子供も時々服用するは勿論發病の際手軽に素人療治をすることである

(胃活錠)二圓、一圓五十錢、三十錢
(胃活)二圓六十五錢、四十五錢

東京市日本橋區本銀町三丁目 山田安民薬房
大阪市東區南久寶寺町二丁目 山田安民薬房
全國各薬店にあり

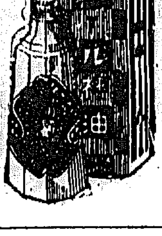
藥は必ず用立たる時買ひ玉へ
藥は必ず高きものを買ひ玉へ
藥は病の輕き間に買ひ玉へ

コノ銀貨ト健胃強壮

胃が悪い、腸が痛いと言ひながら、薬も飲まずにブラ／＼と金が惜しいか、日間が惜しいか知らねども、何より大事の命が惜しくはあるまいか、命ありての物種と、氣附きし人は、世上に評判高い、ソレ胃活の此通り四十五錢(二週分)程を飲んで御覧其効能は覿面なる

健胃剤にも種々あれども、古大藥が、現今の世界に知られたる藥品中、其比を見ずと言はれたる胃活こそ、實に胃弱者の守護神

胃活は流行の日中藥にあらず、又一時の安氣め藥にあらず安心して用ふべき模範藥なり



パール

完備せる毛髪油

パール煉香油
パールポマード
パール椿油

日本内地は勿論海外各地に巨多の愛用者を有し昨今殊に海外の輸出多大に激増し各所より山なす注文

礦物を加合せず化粧化學を應用し香氣馥郁として絶對養毛に適したる純植物製

發賣元 平尾賛平商店
代理店 平尾賛平
東京 大阪

天覧 蘇峰 德富猪一郎著 第九版

增補 世界の變局

總クロース上製、增補菊版六一〇頁 定價金貳圓五拾錢 郵税十二錢

全世界の耳目を聳動したる米獨國交の斷絶と本書の絶對的權威

昨年来、幾度か危機を傳へられたる米獨間の國交は、遂に斷絶せられたり。尋で来るものは、宣戰の布告と開戰乎。今や全世界を舉げて、歐洲の一大戰渦に投ぜんとす。是豈に我が日本國民の一大警戒を要するの秋に非ずして何ぞ乎。此時に於て、歐洲大戰の由來因縁を説く、未だ本書の如く、痛快適切叙述精透なるものなきす。而して本書に於て著者の豫説したる如く、世界の大勢の經過し、継續し、發展しつゝあるは、之を豫言の的中こいはん乎、將た史中の奇蹟こいはん乎。刻下の大問題たる、米獨國交斷絶の由て來る所以の如き、一たび本書を繙かば、豁然貫通、恰も及を迎へて解くが如けん。

發行所 東京市京橋區日吉町 振替口座一三一〇〇 民友社
京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番
賣捌所 大阪屋號 京城本町二丁目 電話一一六六番
取次所 嚴松堂 京城本町一丁目 電話二〇八六番

金牌二十個 銀牌 賞

健康となる金科玉條は
毎食前飲用するにあり
さすれば 血を増し 肉を肥し
知らず識らずの健康體となる

蜂印香竄葡萄酒を

原料騰貴に付九月十日より

醤油壹割五分上ゲ

仁川醤油醸造業組合

涼しき香りの 香晶

なお携帯あつて
残暑を忘れ給へ

各地小間物化粧品店薬店雑貨店にあり

京城日報
第三版
九月四日
(夕刊と合せて八頁)

▲仁川期米
▲後場小變動
▲仁川現物界

物價騰貴と調節策(一)
旱天の霹靂、思惑連の狼狽

△調節令施行　我國に於ける物價騰貴の勢は凄まじき有樣である、本紙過日「騰貴の一觀」に於ても、此の物價騰貴の大勢が自然的因果關係にあるならば、先づ困難なれども、之を人爲的原因に基づくものあり、即ち奸商の狡策により故意に釣り上げらるゝものあるに於ては、斷じて之れを見逃がす可からざる所以に言及したのであるが、果然政府は物價●調●節●令●を●制●定●して之を九●月●一●日公布の日より施行することゝなつた。政府が今回制定施行せる調節令の趣意は●暴●利●を●目●的●と●する●買●占●め●賣●惜の取締をなすに在りて、本紙東電の報ずるが如く、政府は急激なる市價の變動を豫想し、依つて暴利を得る手段として物品の買占め又は賣惜みを爲し、又は爲さんとする者に對して、之が事實を認むる時は、期間を定めて其行爲を爲す可らざる旨を戒告し、且つ必要と認むる時は其の物品の價格につい て條●件●を●附●する●こ●と●を●得●べく、而して戒告に違反して買占め又は賣惜みを爲し又は戒告に附したる條件に違反したる者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金●に處すと云ふのである、今回の調節令に於て取締を適用せらるべき物品は(一)米穀類(二)鐵類(三)石炭(四)綿糸及び綿布(五)紙類(六)染料(七)藥品であつて、何れも國民生活上の必要物品である。

△營業自由と干涉　原則として個人營業の自由は勿論尊重すべく、國家が濫りに之に干涉する事は成るべく之を避けねばならぬのであるが、全然自由放任するに於ては、矢張り國家の干涉が必要となるほどの弊害を生ずる場合がある。今日は恰も其の場合であつて、物價騰貴を趨勢なりと稱するも、其の間奸商が暴騰を煽る手段を弄して盛んに騰貴の勢を煽りつゝ居るは爭はれぬ事實であつて、政府が突如として物價調節令を發し調節的に干涉せんとするの必要に基き、時宜に適したる政策なりと謂はざるを得ない。其の効力が如何の程度まで發揮されるかは暫らく今後の施行を見なければ判らぬが、此の暴利取締政策上一種の非常手段が執られたのは、買占思惑に依りて暴利を博せんと狡計を回らして居た商人聯中に大衝撃を與へ、狼狽措く能はざらしめつゝあるは痛快至極であつて、奸商の利益の爲めに犧牲に供せられ居たる消費者側の我國民は旱天の慈雨を渴欲して溜飲を下げる心地がするのである。

△不自然の騰貴　國民經濟上より見て、物價の騰貴が必ずしも呪咀すべきでなく、物價の下落が必ずしも斷じて制すべきでないが、今日の物價騰貴は餘りに猛烈に過ぎて、之れでは眼視せざるを得ない程不自然である、低きに過ぐれば上げる、高きに過ぐれば下げる、其れが調節である、高くなり低くなるといふ事は道程であつて、それが問題ではなく、高低の程度が問題である、今日は高くなる程度が大に問題であつて、其問題は早速にも適當に始末をせなければならぬのである。米穀類と云ひ、鐵類と云ひ、石炭と云ひ、綿糸布と云ひ、紙と云ひ、染料と云ひ、藥品と云ひ、何れも是れ國民生活上の基礎的重要品であるのに、それが最も買占賣惜の商人思惑の材料に供せられて居るのは、不都合の廉ならずや、抑こそ政府が取締を試みようとするのであらう。先づ物價の趨勢を見て今日如何に法果もなく騰貴して居るかを知るべし。

□高粱畑　滿洲名物、高粱はいま實り切つた時である、丈餘の生ひ茂つた畑の中に入つたが最後何處が我來し道やらは迷はざるを得ない馬賊の跳梁にはおあつらへむきといふ時である。(在本人)　鶴田櫟村

弘法大師と國民の信仰(三)
本社主催通俗講演會講演
文學博士　黒板勝美

偏高野山の寶物中には歷代の天子の御眞筆がある。即ち御親翰。後村上、後醍醐、後伏見各天皇の御親筆より相國や義滿の自筆乃至西行法師の自筆等がある。世間には西行法師の自筆と稱するものが澤山あれども殆ど僞筆としか認められぬが、唯一眞に高野山に傳はる此の一筆ある丈である。此の他歷史上有名な歷史の人々の自筆が澤山にある。即ち之は全く大師信仰の結果に外ならぬのである。換言すれば是等の寶物は、大師に對する信念の結晶である。此點から考へても大師信仰の昔より盛んなる事實を察知する事が出來る。大師に對する國民の信仰が斯たなるもので無く、大師在世當時より甚だ盛んなりし事實を想ふ時、必ずや大師の關係、信仰及び學問が、國民の思想と信念とに相觸れ相一致するものがなければならぬ。今更茲に大師の偉大なる事蹟を贅るの要はないけれども、大師の學問及び思想の由つて來る所以を申述べて見やうと思ふ。先づ順序として當時の時勢の如何を見るに、由來英雄豪傑は時勢を遺るが、同時に時勢よく英雄を遺る所である。弘法大師は如何なる時勢に生れたか、而して何故に眞言宗の弘通に畢生の努力を捧げたかに付き、私の管見を申述べるならば、御承知の如く弘法大師は、支那文化の影響を受けて最も支那風の盛んなりし奈良朝の後半期に生れたのである。そこで大師の思想の由て來る所以を明かにせんと欲せば、奈良朝を研究せなければならず、奈良朝を知らんと欲せば、更に溯れる時期を研究しなければならぬ。今日は時間に限りあるに於て、此の點に關し、詳細を述べるの遑なきを遺憾とするが、要するに日本は朝鮮を經て支那文化を輸入し居れるを、推古天皇の御宇に至り直接に支那より各種の文物を輸入したので、茲に急激なる文化の發展を見るに至つたが、更に天智天皇の御宇に至りては朝鮮と手を切る程に支那と直接の關係を結び、盛んに其の文物を輸入した。之れ蓋て奈良朝の出現を見る所以である。支那より輸入せる文化中信仰方面に於けるものは即ち佛教思想である。佛教渡來當初崇佛排佛兩說に岐れた事は人の知る所であるが、聖德太子は篤く佛教を信じて之を興隆し、其の方針を以て總ての政治を行はれた。併し乍ら茲に注意す可きは、聖德太子は佛教其のものにのみ沒頭して、他は一切捨てゝ顧みられなかつたのでは無いと云ふ點である。凡そ新たなる宗教の勃興する際は、動もすれば古き信仰を一蹴し、若くは其れに反對して迄でも、之を採用し、之を信仰したる事は、史上其の例に乏しからず。即ち羅馬が基督教を採用した時の如き其の著しきものである。朝鮮も亦然りである。朝鮮は佛教の傳來するや其の以前からの國民的信仰は地を拂つた。之が爲め從來の固有の信仰は廢頽に歸した。佛教が衰へて儒教に代るや、朝鮮は儒教を採用したが、其の結果は如何、朝鮮人は其の本來の精神を失つたことは知らるゝ如くである。然るに我國に於ては國民の信仰が入つて國民の傳說の如くであるが、日本人には建國以來國民的信仰がある。即ち「神祇」崇拜といふ我國固有の國民的信仰に依つて社會の秩序を維持し來つたので、新宗教の輸入に依りて固有の信仰を失ふことなく、其の固有の信仰は國民の意味に於て朝鮮は政治的に、成は社會的には存續したが、是れ決して國民固有の精神が存續せられ居るや否やより成る一部には之を認め得べし。然も、國民思想を同化する點如何に想到すれば、朝鮮の今日ある、必ずしも偶然ではないと思ふのである。

誰(56)
布施生譯

鈴富はまだ腑に落ちない顔をしたが、しかし老人は強て此點を說破しやうとは努めなかつた、「俺は今夜藏部の口から聞いた兇器との結婚一件を一寸耳に知らせば、それで議論は打切になる譯ではあつたが、さてそれを鈴富の耳に入れる勇氣は老人には無かつた、難しくして老人は語を繼ぎ「兎に角保部の奥樣を手の中に握つてゐるのは藏部ですぞ、そんなら如何して？さあそれが問題ぢや、何でも私の考へでは藏部と奥樣とは若い時分知合つてゐたに相違ない、それから一時音信不通で十五ケ月前に偶然顔を合はせたのぢや──之だけは確實した證據があるから間違はない、何でも二人の關れ縁は乾度若い時に結ばれたのぢや、それを一つ調べて見ませう」「調がつくでしやうか」「つきますとも、藏部の經歷が分れば一切萬事明瞭になりますわい、實は今夜一寸藏部の面前で彼の兒の噂をしてみたら、藏部が妬忌らしく顔色を變へましたぞ、それで氣がついたが彼のあの兒の殺害は成程弟と狙つて間もなく亡くなつたのおやつた」「さうすると毒殺でもしたのでしやうか」「毒殺もしかねんやつらぢや、人を眠らせにしやうと工らむ位の奴ぢやからのう、いや其樣なことを思ふより奴が悲哀邪になつてこうなつて見ると何でもなくなりましたぞ、それ次第の事ならば私の仕事は終つてゐる、檢事の職へ一應斷行付けて逮捕狀を貰へば濟む事ぢや」鈴富は躍り上つて「そうですか、もう然んなになつてますか」「なつてますとも、鍵を渡した人も分り、合文字を知らせた人も分つてゐます」「鍵を渡したのは明取の奥樣でしやうが、合文字を知らせたのは誰…其合文字は」「老人は一寸鈴富の面を見て「三樣、貴君が知らせたのですぞ」それを見た老人は當惑/\と「君は、君が合點のゆかぬ顔をしてゐるの、ん顔をする事は無い、合文字を教へたのは全く貴君だつたのぢや、君はもう忘れたかも知れぬ、二日前、貴君は美那子八歳其外二三人と何しく喋舌があつたでしやう」「いやしました、それは覚えて居ます」「其時貴君は何を言つたか覚えてゐるかね」鈴富は困つた、默許首を傾げて「さてみても思ひ出せない」閉口して「存じません」と云ふと老人は眼では笑ひながら口では窘めるやうな調子で「いかんな、そうだらしが無くては、美那子が寺に懸けてゐてくれたから可いが、あの時君は三日美那子の所へ寄附かなかつたので、美那子は君が俺が無いと怨んだんだ、そうすると君は美那子に、そんな事を言ふもんぢやない、現に今でも己はお前の名で銀行の金庫を讓つてゐるんだぜと言つたのぢや。」鈴富は惡夢から醒めたやうにはつとした「失敗つた」「如何にもそうでした。」「それから後は想像でも分るでせう、藏部が八島の中に何か保部の奥樣を强迫して鍵を盗ませたんだ、そして合文字で金庫をあけて金を盗つたんだ、勿論保部の奥樣は二の足を踏んだのぢや、仕方なしに手引をしたものゝ良心に責められて其後安心が出來ないのぢや、溯り君に四千圓寄贈したのもあの奥樣ですぞ。」

京城大和町一丁目
發行所　合資會社　京城日報社
印刷人　小川三之介

朝鮮彙報

朝鮮彙報　大正六年九月號　(定價貳拾五錢 郵稅二錢五厘)

主要目次

口繪　鬱陵島の道洞港口、全北金山寺の七重塔、鬱陵島模範場の苹果栽培狀況、京畿道の優良苗木

■鮮滿鐵道の統一……人見鐵道局長
■李朝の土地制度と高麗との連鎖……淺見高等法院判事
■近年の豪雨……平田觀測所長
■發電水力調査(承前)……遞信局
(行政)濟生院事業報告◎咸南の行政區域名稱(財政及金融)大正六年上半期の朝鮮貿易◎大阪對朝鮮貿易◎六月中經濟概況◎七月中の貿易(産業)雜穀實收高◎特用作物實收高◎大豆に關する調査◎夏産豫想外數件(交通及土木)朝鮮國有鐵道の引繼◎電報通信狀態◎遞信事業概況(學事)內地留學生の狀況◎間島の朝鮮人教育(司法及警察)不動産登記令の施行及地方法院出張所の設置◎朝鮮在住內地人の戶籍屆出
■李朝五百有餘年間に於ける模範的石橋……渡邊彰
■製瓷事業に關する調査……瀨林廠
◎地方通信◎雜報◎敍任辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例

▲投稿を歡迎す　原稿締切期限毎月十日
▲販賣店　朝鮮各地の書店にて販賣す
▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

機械工學便覽

本書の特色と目次の大要

本書は現代機械工學に關する日本唯一の「ポケットブック」であつて、外國語を十分に解せざる各位の爲め其便覽に供する主旨である。
著者に請ひ實に五ヶ年の日子を費し編纂す殊に本書中には英國東倫敦工藝學校教授ジョン・ロー氏の承諾を得て同氏の著書中より最も有益なる要項數多を網羅す錦上の添花殊に異彩を放つ者也一部を座右に供へ便覽とせられよ。

◎機械工學便覽【目次】
▲解析幾何學▲微分學▲積分學▲對數及倒數表以下必要諸表六種◎重學▲動學▲静力學◎材料强弱學▲工場須知▲製圖▲木工▲鑄工▲鍛工▲機工▲鑄工▲組立工▲製罐工▲鋼工▲機械設計及割合▲螺旋、鋲釘以下數十種◎發動機▲蒸汽機關▲蒸汽鑵▲瓦斯及石油機關▲以上設計及取扱法◎水力學及水力機械▲水力學▲水車▲タービン▲喞筒◎材料編▲木材鐵材等一切の性質、製法、大さ重量等五十三種◎仕樣書一斑▲鋼鐵物外十四種◎工場に於ける救急療法◎簿記概要▲スチーム、タービン外數十項目◎發明及發見年表◎參考書◎索引▲以上半葉詳述圖解一讀了解すべし。

機械技師　市川忠一先生編著　大好評(第十版)發賣

機械工學便覽

菊版半截「ポケット形」全一冊總革金緣美裝　紙數千百餘頁、挿圖五百餘箇、活字六號七號
正價金三圓　內地書留送料十二錢　滿韓臺樺金廿二錢

時代の要求と重版の盛況

◉本書は十六編と二千有餘項に分類し最新式を網羅せり術語には恐く原語を附し未だ原書を十分に解し得ざる各位の爲其便覽に供す故に本書は亦機械工學字典の代表著たるを得べき各位の研究の資材と且つ實地活用の一大寶庫である。
◉本書は現今機械工作に從事せる各技術家・技手・工手・職工長及び製圖家・工場主・機械工學生・機械店員其他の諸君が斯界無比の至便至利なる良著なりと賞讃され現場座右必備の寶典として携帯さるゝこと益々増加し數回重版せる機械工學界空前の盛況である。

發兌　東京京橋區南槙町一八　建築書院　振替東京九四一八
特約　京城本町一丁目　大阪屋號　電話六八四番　振替三五七三番

○法王の新手段

講和を實際問題たらしめん

羅馬來電に據れば羅馬法王ベネヂクト十五世は各交戰國よりの提議に對する回答を受領せる後更に第二回の通牒を發すべし其の中には交戰國の回答中一致せる部分と一致せざる部分とを指摘し其の一致せざる部分に對しては双方論議を鬪はすべき必要ありとの理由を附して講和問題を實際問題とする手段を講ずべしと(倫敦電報)

○獨逸平和方法變更か

獨逸の政府は平和の目的方法を變更するに至る可しと米國にて觀測されつゝあり(桑港電報)

○獨逸近く講和回答か

伯林來電に據れば獨逸の羅馬法王に對する講和回答は九月七日以後なるべし獨逸宰相は夫れ迄に聯合國の回答の要旨を知らんことに努むべしと(桑港電報)

○講和具體條件提出

獨墺兩國は羅馬法王の講和提議に對する米國大統領ウヰルソン氏の回答に就き協議の結果米國の要求に從ひ具體的條件を提出することに決定せり(紐育電報)

○英國通商情報局新設

英國内閣は商務官及び領事の職務を充實せしめ且つ擴張して國内に於ける通商委員會の組織を更に擴大したる大規模の通商情報局を設立せんが爲め今回新通商報道案を可決したり同局は總ての商業上の報道を扱ひ且つ其の目的に必要なる限り海外に於ける貿易事務を指揮し國内の商業と密接なる聯絡を保持すべしと(倫敦電報)

○獨艇巢窟掃蕩要望

佛國陸軍當局の意見

佛國陸軍界にては英國海軍が獨逸潜航艇の根據地を積極的に攻撃するの政策に出でんことを希望し居れり佛國陸軍當局に曰く若し獨逸潜航艇の根據地を破壞する爲め佛國がツエルダン、フランダースに於ける全戰線に總攻擊を行ひ數十萬の生靈を犧牲に供する價値ありとせば先づ英米兩國海軍自ら進んで白耳義に於ける獨逸潜航艇の巢窟を一掃するの手段に出でざる可からずと(巴里電報)

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○大隈侯の病報は、自から病床に呻吟しつゝありたる予を、驚かしめたり。若し大隈侯にして、萬一の事あらん歟、如何に我が日本の言論界は寂寥なる可き乎。經世家としての大隈侯、實務家としての大隈侯には、天下必らずしも、隨喜者のみにあらじ。されど如何に罵詈しても、侯は一代の雄と云ふ可きに庶幾し。而して特に言論界の雄、社交界の雄としては、當世の名人傑中、殆んど無敵也。

○大隈侯の取柄は、其の無限なる擴取力にあり。大隈侯は故世外侯を評して、井上の胃腑は、駝鳥の胃腑の如し、何物でも消化せざるものなしと云ひしも。大平自から評言にあらず。是れ其の老て益よ淸新なる所以也。

○其次は反撥力にあり、彈力にあり、頑情我慢力にあり。殷鑑を溯ぼれば、あり、諦め好きにあり。明治十四年、廟堂失脚以來、藩長の權威を敵とし、其の道途に對抗したるが如き、一切の缺點、黒點を擦除し去るも、復た健氣なりと云ふ可し。乃ち今回の恢復の如きも、多くの理由中に、其の反撥力を以て、重なる一に數ふ可きに似たり。

○病患に對するも、病氣に對するも、彈力の働きは同一のみ。予は中心大隈侯の快癒を祈る。

○前週英船擊沈數

前週中北海英佛海峽地中海等にて獨逸潜航艇のため擊沈せられたる英國汽船總數は二十三隻にして内千八隻は千六百噸以上の大汽船なり(紐育電報)

○佛國內務卿辭職

佛國內務卿マルヴィ氏辭職せり(巴里電報)

○植民地事務拓殖局經由通牒

三日寺内首相より各省に對し朝鮮總督府、臺灣總督府、關東都督府、樺太廳に交渉を要すべき事務に就ては總て拓殖局を經由すべき旨通牒を發したり(東京特電)

○辭令

三日左の通り辭令あり(東京特電)

拓殖局長官 有松英義

拓殖事務委員會委員長被仰付

○三港對鮮貿易

門司八月下旬朝鮮貿易は廿七萬五千二百九十三圓内移出三萬四千六百四十二圓移入二十四萬六百五十一圓にして一月以降累計は三百八十萬三千五百三十七圓に上り昨年同期に比し百七十萬圓の激増なり下關港同期の朝鮮貿易は總額九十二萬八千六百十二圓内移出六十二萬八百四十八圓移入三十萬七千七百六十四圓にして一月以降累計は實に一千八百六十九萬四千四百二十四圓の多きに達し昨年同期に比すれば七百四十六萬三千七百六十圓の激增に及び未曾有の盛況にあり尙ほ若松港同期の朝鮮貿易は總計二十九萬二千百八十三圓内移出二十六萬九千八百七十三圓移入二萬二千三百十圓にして一月以降累計は百三十萬四千五百五十五圓に達せり

●朝鮮の輕鐵及軌道(下)

産業の發達と交通機關の促進――既設輕鐵並に軌道の經營狀況――未設輕鐵及軌道の資本並其事業計畫

專用

▲既設輕鐵及軌道

輕鐵及び軌道の内專用に屬するものは現下主として鑛物の搬出に供せられトロ多數を占む左に其の既設の分を經營者別に掲ぐ

▲小宮萬次郎 菖蒲、徘水里間十二哩二分の地點に軌道を敷きトロを用ゐて自家採掘の鑛石を搬出す其の建設費十萬五千圓なりとす

▲大倉喜八郎 温中里、東四里四哩四分の間に鐵路を敷き鑛石を運搬す其の建設費は三萬六千圓なり

▲麻布鑛業合資會社 東倉浦、安岳間五哩四分の地點に鐵路を敷き鑛石を運搬す之が建設費は三萬六千圓也

▲朝鮮起業株式會社 七萬圓の資本金を以て釜山鎭、釜山西佐川洞○哩七分の間に鐵道を敷き列車を運轉す

▲東洋合同鑛業會社 檜洞、東谷間○哩六分の間に軌道を敷きトロを運轉して同會社採掘の鑛石を搬出す之が建設費は四千圓なりとす

▲淺林鑛 四萬二千圓の建設費を投じて土田、西水緇五哩八分の間に軌

▲龜割安藏 利原、浦淸里、昌興里、海岸三哩五分の間に軌道を敷き鑛石を搬出す其の建設費七千九百二十七圓を投せり

▲古城管堂 背陽鑛山內一哩二分の間に軌道を敷きトロを通じて鑛石を運搬す之れが建設費は七千二百三十一圓なり

▲未設輕鐵及軌道

專用に屬する輕鐵並に軌道中未だ開通の運に至らざるもの九あり、其の總延長哩數三十五哩九分にして之を既設の輕鐵及び軌道の總延長哩數三十三哩八分に比すれば二哩一分の增に止まり兩者殆んど伯仲の間に在り、その經營者別に示せば左の如し

▲三菱合資會社 二十八萬圓の建設費を投じて兼二浦、李已井里間四哩一分の距離に軌道を敷き鐵鑛を運搬せむとす

▲三菱合資會社 前同鑛物運搬の目的を以て十五萬圓の建設費を投じ仙洞、金泉洞三哩九分の間に軌道を[illegible]

▲三菱合資會社 三十八萬五千圓の經費を投じて内土洞、上海洞十哩二分の間に軌道を敷き貨車を運轉す目的前項に同じ

▲三菱合資會社 九渡面竹岩里支線哩五分の間に軌道を敷かむとするものにして其の經費一萬三千四百五十圓の豫算なり

▲古河合名會社 四萬二千圓の建設費を投じて搭洞、雁鴻洞四哩四分の間に軌道を敷き鑛石を運搬せんとす

▲小野田セメント製造株式會社 五十二萬三千五百六十圓の經費を投じて秋乙美面、勝湖里間七哩七分の間に軌道を敷きセメント材料及び其の製品を運搬せんとす

▲三菱合資會社 岐陽、和鶴里二哩七分の間に軌道を敷く其の經費豫算三萬九千圓なり

▲小田庄三 鈴木商店京城支店の事業にして甕津鐵道停車場より同店の經營鑛山の運搬用に軌道を敷き鑛石を運搬せんとす[illegible]

▲東洋合同鑛業會社 [illegible]

[illegible]

○露國脫走兵士大刑罰

グレンスキー氏不日戰線に急行か

露國首相グレンスキー氏は自國の兵士が戰線より脫走せりとの報に接するや臨時閣議を召集し之れが救濟策を講じたる結果此の際一部の反對あるを介せず必要ある限り大刑罰を加ふることに決し尙ほ元帥に命令を下したるより元帥は各師團長に對し電報を以て嚴命を發せり尙ほ首相は近日中に戰線に急行すべしと(露都電報)

○講和問題澁滯と暴動

伯林來電に據れば墺國諸都市及び波希米利にて同盟罷業に伴ふ暴動勃發し何れも兵力にて警戒中なり其の原因は講和問題の澁滯にあるものゝ如し(倫敦電報)

○米對露五億磅貸付

ペトログラードに來電に據れば米國政府は今回露國に對し五億磅(五十億圓)を貸與するに決したり右は英佛伊各國の結果露國を信用するに足ると認めたるに據るものなりと(倫敦電報)

○山東匪亂と張懷芝

山東督軍張懷芝氏は山東の匪亂益々險惡となれるのみならず軍隊と亂徒と合同したるより八月三十一日夜急遽歸任したり(北京特電)

◎人貨物賃金改正

滿鐵京城管理局にては今回大貨物特定賃金中左の如く改正し來る十一月一日より實施することゝなりたり

[illegible]

◎大邱驛倉庫成績

[illegible]

◎河野大佐入京

[illegible]

◎土岐監北鮮巡視

[illegible]

◎鹿兒島視察團來鮮

[illegible]

人事消息

[illegible]

百聞百種

[illegible]

●錦州貿易狀況

[illegible]

▲羊毛皮類 [illegible]

資本金參百萬圓

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

明治四十二年八月

京城府南大門通一丁目十四番地

株式會社 漢城銀行

專務取締役 韓相龍

支店所在地 南大門、水原、平壤、大田、開城

出張所所在地 鍾路、東幕

電話 二六四六番 二三九番 振替口座 京城二二一六〇

比較は最良の撰擇法なり!!

サクラ正宗

京城明治町二丁目

山邑京城支店

電話 一四八四 九五四

木炭買込の時機到來

十俵以上御買込御希望の御方には御宅迄御届け可申候

京城旭町三丁目

み商店薪炭卸部

信用ある東京三金の靴

ボックス革製編上靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢

ボックス革製深ゴム靴 第一號 金五圓五十錢 第二號 金六圓五十錢 第三號 金七圓五十錢 第四號 金八圓五十錢

寸法書見本付錢用紙 送呈

東京市下谷區… 三金高等靴店

▼皮革

精米研磨革 織革 動力帶革 靴原料 背象木底

▲精米研磨革及背象木底は他に比なき最良品なり

釜山大廳町一丁目

三星商會

電話長七八〇番

移轉及歸宅廣告

小生儀今般左記の處へ法律事務所を移轉致候

尙先般來內地へ旅行中の處本日歸宅仕候

京城大和町一丁目卅九番地

辯護士 松本正寬

電話長一〇五四番

新學期開講

最新俳諧講義錄

講師 …

俳誌添削 俳誌上達

大日本俳諧會

遺憾乍ら仲秋明月迄

觀月會は二十九日の夜＝捲土重來の勢にて開催せん＝必ず諸君の滿足を期す

京城日報社及び毎日申報社主催の觀月會は天氣の都合にて三日夜迄順延し來りたるは洵に遺憾千萬なるも千餘名の會員諸君に安心して最も面白く愉快に半夜觀月の清興を恣にならしめんとするには主催者に於ても充分の要意と而して多大の注意を拂はざるべからざるは當然にて且つ其の責任を威ずる以上は

◆最良の天氣を選ばざるべからざりしが故に殘念乍ら順延の止を得ざりし次第なり主催者にても一方ならず三日の天氣如何を氣遣ひ居りしに同日に至りても夜來降雨の後を受け午前中は相變らず雨模天を掩ひ且つ時々驟雨の來襲するありされば係員一同も心痛甚しく

◆時々測候所に就て天氣模様を聞き合せたるに午前より西海岸に起りし低氣壓は京城方面に向つて來り殊に午後に至り普鳥方面に起りたる低氣壓は直に朝鮮西南部を襲はんとし京城の空は雨雲の去來繁く

◆刻々に一晴一曇を現はし來る天氣は係員等をして長大息をなさしめ午後五時過より天氣益々險惡となり雨神將に來襲せんとするや遂に落膽の深淵に投じ去りぬされど我多數の愛讀者諸君が折角期待されたる此の觀月會を此儘中止するは主催者に於て實に忍ぶべからざる遺憾なれば

◆殘念千萬の至りなれば更らに本月二十九日（土曜日舊暦十四日）の夜は仲秋十五夜の明月の前夜に當れば斷然二十九日夜に迄延期し捲土重來更らに益々新趣興を凝し此延期の費を塞ぎ必ず諸君の最大滿足を期せんとする事に決し申込各團體諸君へも其旨通告せるに幸ひに

◆多大の同情を致され贊成を得たるのみならず團體側にありても更らに新趣興を凝らすべしとの事なれば主催側にても深く感謝し係員は直に新趣向に取り掛るべし月に叢雲花には嵐兎角思ひの儘ならぬが浮世のさがとは云へ二十九日の觀月會には必ず參加諸君が大々的滿足なるべき事を今より保證するものなり乞ふ幸に期待せられよ

蔚山白骨事件公判

被告惡怯れたる樣子もなく殺人を否認す

蔚山郡内の白骨事件として一時世人の耳目を聳動し活動寫眞に迄仕組まれたる愛知縣生れ被告人長坂七太郎（○）に係る

▲殺人及び其他 二三罪俱發事件は第一審釜山地方法院にて死刑第二審大邱覆審法院に控訴して棄却第三審高等法院に上告したる結果前判決を破棄され京城覆審法院の再審に附せられたり九月三日午後一時過より京城覆審法院八號法廷に於て塚原裁判長桐山、畑兩判事陪席岡書記係り寺田檢事立會にて之れが公判開廷されたり定刻前被告長坂七太郎は兩人の看守に物々しく警護されて入廷深編笠を脱し手錠を外され

▲悠然と被告席に着席す一方事件の最初から辯護の任に干與はり居る釜山の訴訟代理人佐々木清綱氏は辯護人として出廷す更に傍聽人席には「俺は活動寫眞で先に觀て置たが今日は實物見物だ」など恰も興行物にでも見物するが如き物好連中押寄みたり裁判長は型の如く住所氏名より訊問を迎して逐次犯罪事實の審問に入りしが被告は淺黄色盲目縞の單衣に細き兵兒帶を無雜作に締め五分刈頭を右垂れ居れる

▲何等惡怯れたる樣子もなく寧然と構へ込み瞭然たる語調にて裁判長の問に答ふる様有繫に重罪犯人の度胸を示したり裁判長は順次犯罪事實の各項を簡單に摘みて被告に犯行の有無を確めたるに七太郎が遂手に掛りて慘殺されたりといふ彼れが衛隊主なる蔚山居住の坂本源吉を明治四十五年七月中殺害して同人の財産を横領したりとの點に就ては其の殺害を極力反對否認し『決して殺したことはありません』と頑張りたるより裁判長は喚問したる多數の證人の證言其の他

▲有力なる證據物件に依り被告が殺害したものであらうと一喝したるに被告は何等臆せず極力否認し去れり其の他の犯罪に就いても多く否認し殊に證據の日附けを楯に取りて彼是辯明する所あり次いで被告は證據物件たる白骨の頭部の供覽を申請し以前に鑑定したる齒の枚數に疑義ありと申立てたるより裁判長は白木造りの箱より例の問題の白頭骨を取出して見せたり七太郎は鼓ぞとばかりに白骨に現れる上下の齒を數へ鑑定書に認めたる齒の枚數と只今數へ見たる

▲枚數とは相違せりと申述べたるが其の他には申立つることなしと述べて着席したり其れより佐々木辯護人は裁判長に此の白骨の齒に就いて再度の鑑定方を申請する所あり檢事の要求に依り裁判長以下係判官は別室に入り秘密の裡に一時間半許り愼重合議する所ありて再開され辯護人の申請したる再度の鑑定方を許可する旨宣し釜山の別府齒科醫に齒牙の鑑定方を命ずることゝし來る十四日續行公判開廷の旨を告げ閉廷せり時に午後五時半なりし

白骨事件被告人　長坂七太郎

て蜻蛉追ひに夢中になり居りし際同番地の鳶本松鉉（八）が過つて蓮池の大釜に墜ち込み將に溺死せんとするを發見し他の兒童が騒いだから止せと制止するも肯かず直ちに之れを救助したる上大小便の附着せる衣類帽子身體など叮嚀に洗ひやりたるが同人は三十一日の天長節にも其町海岸…

●馬賊猖獗を極む

新民府邦人部落の確聞に據れば新民縣各地に於ける本年の馬賊は例年になき猖獗を極め殊に昨今に到りて其出沒尤も甚しく過般來支那陸軍及び警察は終始討伐隊を派遣しつゝあるが此際馬賊の多くは二十人或は四五名の一團にて生活難の揚め一時馬賊を働くに至れるもの如く目下眞新民警務署長は騎兵巡警及び探訪隊全部を率ゐ公主屯方面に又二十七師第百七團歩兵第三營の各營は彰武縣地方に出動して討伐中なりと（奉天）

●山中で慘殺す

自稱全南順天郡正面生れ鄭桂龍（二三）と云ふもの本年一月全北扶安郡下西面有峴洞鄭姓三方へ赴き突然自分を養子にして呉れと坐り込んで動かねより鄭性三もいたし方なく居候的に家に置き居たるが本年七月末性三は自分の所有せる田を賣拂ひ借金を支拂はんとするより桂龍は之を止め自分の姉は寶城にて金持の家に嫁ぎ居れば何とか方法もあるべし就ては共に順天へ赴かんと打連れて八月中旬扶安を出發し本月廿四日寶城郡於西面七百里に到著したるが夫れより稍行き疲れ上り此處は近道なりと路傍の一先づ木影にて休憩中桂龍は何心なく煙草をふかしつゝある性三の後に廻り手頃の石を以て先づ性三の頭部を力任せに毆り付け尚ほも續け樣に亂打して慘殺し印鑑一個つるまき洋傘等を奪ひ取り逃走したるが秘密にて附近農民が之を發見し鳥致院派遣所に急報し目下犯人嚴探中

●市內郵便配達改正

京城郵便局にては來る十一日より市内配達便を左記の如く改正する由

▲第一號便午前七時同局發▲第二號便十時同上▲第三號便午後一時同上▲第四號便同四時同上▲第五號便同六時同上▲第六號便同九時四十分同上▲但し木曜日に限り第一號便を午前八時三十分とせり因みに從來に對比する時は午後に於て配達回數一回を增加せり

●感心な小學生

仁川花町一丁目三十三番地銀行員塚本俊氏の次男同資（一二）は仁川小學校高等科二年生なるが去る二十九日午後二時頃隣家の子供數名と共に敷島附近に於て魚釣中年齡十七歳の鮮人が將に海中に溺死せんとする處を發見し直ちに海中に飛び入りて救助したるが聞く人何れも其の義俠と勇氣に感歎せざるは無きが小學校にても詳細調査の上表彰をなす可しと（仁川）

●車輛の檢稅

京城府稅務課にては先般自轉車、人力車、荷積牛馬車其他に對し大々的檢閲を執行せしが其の後一般稅金逋脫者を皆無ならしめむとの意氣込にて本月中近く一般車輛に對し檢稅を執行し脱稅者を處罰せんとの計畫あり車輛使用者にして未だ檢印の押捺を受けざる向は此際至急府廳に屆出で納稅すべしと

●封緘葉書樣式改正

遞信當局にては來る九月十日より從來發行せし封緘葉書の樣式を改正し從前の封緘葉書賣切次第之を發賣する事となりたる由

●前科二犯の賊

京城東大門生れ住所不定鄭和順（二三）は前科二犯の曲者にて出獄後所々を荒し廻り八月十八日全北沃溝郡臨陂面成出里捻中開け在中の衣類十二點を竊取し成玉方庭内に侵入し室内の衣類を其他九個所に侵入して二百餘圓の賊品を働きて全州に入り込みたる所を全州署の手に逮捕され目下嚴重取調べ中

●狼に咬まる

全南靈巖郡松面上里農洪長用石伯弗（二）は八月十八日の薄暮自宅を距る約一丁の井戸端に遊戲中一頭の狼現はれ伯弗を咬へて十四五間も引摺り行く內附近の犬三四頭に吠付かれしかば流石の狼も遂に之を捨て山間に逃走せしが伯弗の傷所は右肩胛左大腿部等なるが生命には別條なしと

●飛降りて氣絶

二日午後九時十分頃京城電氣株式會社の八號電車が黃金町四丁目を進行中乘り合せたる櫻井町一丁目六十六番地松山猪吉（二）が飛降りをなし一時人事不省に陷りたる騷ぎに附近の交番より警官馳付け醫師の手に依りて應急手當を加へたり

●仁川の疫痢

仁川宮町三丁目十三番地中村信江（二）は九月一日より疫痢に罹り二日診定の上避病舍に收容されたり

●鶴を打落して喰ふ

慶北安東郡西後面居坪洞居住の農林某龍（二）は去る七月二十九日同村鳳停寺境内に鶴（一名仙鶴）が巣を作り居れるを發見し密かに石にて件の鶴を打落し喰ひたる事發覺し狩獵規則違反として同地警察署に於て處分されたり

うわさのうわさ

▲「妾は龍山練兵場の下に棲む大蛇の化身なり……」と▲アヽラ不思議や恐ろしや南山神社の谷村神官を煙にまいた女が出るかと思へば一方また「△野の狸」「信田の狐」ならぬ顔る面妖なはなしがある▲名前は聞くにお預りとするが先日龍山のさる産婆さんの家に雨のそぼふる夜中をトン〳〵敲いた人がある▲只今自分の宅の嚊さんが產氣づいたから直ぐ來て欲しい伸はこれに……と蝙蝠を下した▲限で行つて見ると何んでも練兵場の附近と思しきあたりに立派な大家構の宅があつて中には明るい電燈の下に上を下への騒ぎである▲産婆さん用を濟まして御馳走になりさて其の翌日行つて見ると件の家は跡方もない▲こんな筈ではなかつたがとあたりを見廻して見ると大きな松の根元に昨夜のまゝのお膳があつた▲ハテなと思つて此の事を語ると其の近所でもその日にお客を招いた時どうしたものかお膳が一人前不足したといふ▲目下龍山で評判の化物ばなし▲ザットかくの如し讀む人眉に唾して御覽あれ

…は日本羊毛…千五百俵、同ジーンス六百俵、同大尺布千三百俵、外に…も粗布ドリル類は概ね朝陽赤峰等に仕向けらる次に錦州に集散する…て右の…類は錦州…毛類は羊毛（春毛）五十萬斤、同（秋毛）二十五萬斤、羊絨十五萬斤、駱駝毛四萬五千斤、山羊拔毛四十萬斤、猪毛二十五萬斤、合計百七十四萬五…枚、猾子皮四萬五千枚、…萬枚、猪子皮二十萬枚、…枚、合計百八萬五千枚にして此他に獸骨二十萬斤を算す羊毛類の七割は…その大部分を山羊皮三萬枚、綿羊…萬枚、猫子皮二千枚、山狸皮二…十萬枚見當とす以上の外

▲雜貨類 …ては石油十二萬…（…に係る）赤砂糖五十俵（…より）…舊日大古…洋行の取扱に係る…西海口に輸入す）燐寸一千六箱（營口…製の外は大部分芝罘より輸入す）要…

▲穀物の集散高は約五十萬…十萬石は西海口より…を占め其他は芝罘又は營口より…もの少し）あり又…九萬石…

觀月會中止と延期

九月廿九日（土曜）舊暦十四日 仲秋明月の夜盛大に開催確定

京城日報社毎日申報社兩社主催の觀月會は明月十五夜に該當する九月一日を以て開催致す事に相成り居りしもの不幸客月末よりの降雨は引續き天候不良連日連夜の雨天續きにて三日間延遲昨三日に至るも降雨歇まず茲に主催兩社は午遺憾昨夕觀月會中止の内議を決定致したる次第に御座候。來十八日は月出も遲く且つ缺分多く最早觀月期を逸脱したるものに候ふとて兩社は前記の如く斷然來る二十九日の仲秋明月期を卜し再舉を圖り幾層盛大なる觀月大會を開催する事に決定仕候。如何ともす可らざる不可抗力の天候の所爲とは申せ乍ら今次の如く蹉跌遂に中止のやむを得ざるに到り結果千五百餘名の會員各位及び關係三四當局の御後同と御厚情とを無にするに至りたる段誠に恐懼恐縮の次第に御座候然れども今次の回復に就ては兩社大に成案信念有之其間詳細及び既に昨日迄に御販賣致したる「觀月會員券」の始末處分に關しては更に今夕刊の紙上に詳細公表致可申候間何卒左樣御了承被成下度願上候

主催　京城日報社　毎日申報社

●マラリアに一番 ヨクキククスリハ 龍山林藥房製劑の マラリア特効丸 價金十錢三十錢五十錢 郵税二錢 本舖 京城本町一丁目 龍山 林藥房 代理店 釜山辨天町二丁目 山岸天祐堂 代理店 大黑商店

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵税二錢

京日案內

●記者外交員 若干名募集 京城日報社

●有給外交員採用 京城明治町一丁目 東京國債朝鮮支部

鋼谷山次郎

風船と寶月 ルデサック

恩給年金立替 博多屋

鑛物定量分析 田部分析所

年金四年半 江州屋本店

はねつき 柔術道場

鮮語科 英語科 新學期開始生徒募集

新金庫 室商店 507

天然生活法

大阪屋號書店

支那の眞想

最新刊

簿記募集 京城明治町二丁目 簿記專修學校

私立實修裁縫學舍 生徒募集

特許 朝鮮總督府

寫眞 京城日報社寫眞製版部

最高級 エール萬年ペン 月賦販賣 朝鮮總代理店 京城長谷川町五八 世昌公司 電話長七四七番

スネークタイヤー スネーク號自轉車 ミノヤ自轉車店

專賣特許婦人藥 ニシタンポン 子宮病にすぐ効あるミ坐藥 定價五十錢 大正製藥合資會社

衛生 全乳 京城若草町 荒井牧場 牛乳部

天下一品 白鶴 嘉納本店

購買 遞信局

天 洋…

京城日報 大正六年九月四日

櫻御殿

第五回 大阪 霞の家主人

小山の軍評定（三）

家康は少しの猶豫も與へず、長政の耳へ口を寄せて、何事かを囁いた。長政は幾度もうなづく
「御意心得申す」
「貴様ならでは叶はぬ事ぢや、この儀首尾よく調はば、此の合戰味方勝利、左衛門尉を作ひ參るは、治部めの首級を獲て賜はれるも同樣ぢや」
「貴様ならでは叶はぬ事」と云はれた一言が、長政の心を強くそゝつた、正則を伴ひ歸るのは、三成の首級を獲るに相當するこの言葉もまた功名に

に憧れる長政の心を強く引いた
「然らば心得、只今より宇都宮へ參り申さう」
長政が立たうとすると、家康は引き止めて
「申さば一大事ゆゑ、德永法印をさし添へる、同道召され」
長政は之れすら斷逃することが能きなかつた
「心得てござる」
「序に一書を認め申す、左衛門尉に上げては不滿足に思ふであらう」
と云つてはたくと手を鳴らして、更に德永法印を呼んで參るやうにと云つた
一點の疑を持つた、長政に深い信用を置きながら、呼んで參るやうに、と云つた
つて置いては、萬一の間柄、長政一人を遣つては何れも大閤恩顧の大將、正則に背つたものか知れない

もし其様事があつては江戸城の根抵が動揺すると思つたので、二人の間合に立ち合はしむべく德永法印を加へようと思ひ付いたのである
德永法印は、もと柴田勝家の猛士、勝豊に仕へて右筆奉行を勤めて居たが、勝家と秀吉との間が不和になつて、おはや賤ヶ嶽の大戰が始まらうとする時、勝豊に勤めて秀吉の陣へ降參させ、勝豊を京都へ逃つて置いて、おのれその手勢を引率し、柳ヶ瀬の戰ひをせは、舊主の族父たる勝家へ弓を引いた功に由り、式部卿となり法印に叙せられ、美濃松永城

三萬石に封ぜられた武士である、太閤が歿つてから家康に心を傾け、遂に井伊直政の媒介して、一筆の誓紙を捧げ、本多忠勝なぞ譜代の家臣同樣の取扱ひを受けて、外様ながら譜代並になつて居た、家康の爲めになら何様事でもして除けようとする如ない親交であつた。
家康の麾下には、斯うした策略家が幾人も居て、家康の冷い血へ無條件な事を送り込む、それが徳川家三百年の基礎を作つたのであつた「この德永法印は天下一統の後、美濃高須六萬石に封ぜられたが、その子左馬助昌重の代に至つて取潰された」、古傷に弓を引いた天罰でもあらう、と云ふので
その時家康から正則へ送つた書状は斯う書いてあつた。
早々九月三日御注進、御書中候

に候、上方雑説中候間人數の儀は被止、御自身は是まで可有御越委細黒田甲斐德永法印可被申候間不能、詳候恐々謹言
七月二十四日 家康(花押)
清洲侍從殿
この手紙の文意は、此の度上杉征伐につき、よくそこまで御出陣下されてまことに御苦勞でござる。然るに上方方面で色々な取沙汰を致すから御相談がしたい、手勢は宇都宮に殘し置き、御自身だけ拙者の本陣へお越し願ひたい、委細は黑田德永から聞いて下さい、と云ふのである。
この手紙の文言から見ても、黑田長政をわざ〳〵先陣から呼び寄せて、この使ひを頼んだのを見ても、勝敗の鍵を正則の向背如何にありとの心をもつて、懸命に味方へ引き付けようとしたのが知れる、當時の正則はそれほどに有力な武將であつたo
長政と法印とは、家康の手書を懐にして、逃々と馬を宇都宮の陣營に進めた。

日報俳壇

早 馬
衛衛園に水鬼く明や早雲 同
早魃や瓜の蔓枯るゝ畑の畑 同
日南水に蛋蜂群るゝ早哉 忍
瀬を干す雜魚掬ふ兒等早雲 同
早魃や蒼細き花の紅に 鶴
青秋の下藥枯咲く早かな 北
田の水に魚の喘げる早かな 飛
葉の落れし竹の微風の早雲 要
田の畔に堆作る蛸や早風 想
梢高う鳥啼きて早軽き風 想
團 扇
戻り馬「桜解く」ぶ團扇哉 同
濱旅舘夕闇に團扇鳴し居る 同
蝙 蝠
廻廊の軒に危し蚊喰鳥 同
洞口掛に掛かる蝙蝠や蚊喰鳥 同
雲の峰
灘を炊ぐ舟の煙や浪の峰 同
雲の峰突り立つ海の一方に 一樹

霧 ＝次の日十一日會＝ 浮碧樓
○霧の鴨緑江滿目にて遠かり 旬
○支那らせんの灯がポツと霧の街 平柳
○水をやたらに呑んで霧深き月 阿岐良
○生徒いちいち送る川霧流るゝなり 田
○居住舞ふて切戸を通りへ出れ霧 嵐
○鶏舍放つより鶏の羽ばたく狹霧 虹堂

川柳

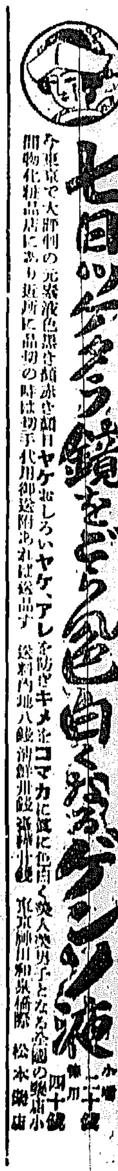
題一日一句
妻庭に不解の縄解を染む 静軒
貝殼の類りに搖く泉かな 紫山宇郎
馬鈴薯の花や悲劇を慰む 浩一
馬藏や水溜から小魚死す 虹
蝸牛瓢箪の蔓を渡り行く 自魚
竹籔に巣夏の在る宴 竹村
＝薬柳會＝
（以下[illegible]）

新刊紹介

▲現代の圖案工藝(四〇) [illegible]
▲勝友(八) [illegible]
▲新家庭(二ノ九) [illegible]
▲探偵雜誌(二ノ九) 探偵譚、探偵術等を記載す
▲犯罪即決提要 [illegible]
▲電氣界(二ノ七) [illegible]
▲陽明(八) [illegible]
▲隨鴎集(二五四) [illegible]
▲英語の日本(十ノ四) [illegible]
▲奉天商業會議所月報(五八) [illegible]
▲根據地の(八) [illegible]

讀者の領分

▲我家は舟橋附近の水害に就て興論を喚起せずには居られない、堤の洪水後の川筋は[illegible]だら水害を受くるものが此川筋に沿ひ居るから恐れ[illegible]として京城の眞中に洪水が屢々出るとあつては京城の名折れじやあるまいか洪水後の川筋は惨憺たるもので[illegible]ない川筋の者が不幸を被るのも無理はない一度當局の御視察を御願ひしたいものだ(川筋の平民)▲京城の旅館は何處を云はず女中が山出し揃ひで[illegible]には閉口する尤も帳場と云はれる人達は何の旅館でも兎も角一等旅館と云ふ旅館は所謂と揃ひも揃つて目から鼻に抜ける程敏捷なこい人達が帳場を預つてゐると見ねて大抵な事は[illegible]ものかしら(京城小僧)▲謹聽生に答ふ「日蓮宗は本門派に限る」とは注連者の孤なる者なり限るとは日蓮の統一を破壊すると聞ふも過言にあらざるべし微なたる一派に拘泥せず本門[illegible]じて日蓮が弟子日興等日朗等に此の心無く水魚の思を成して報恩に心を給へ本門宗なるもの精進院日隆の派祖元八品派と稱す明治卅一年十一月派號を決りて本門法華宗と稱す派中別に松平師講の本門八品講松浦派の本門佛立講なる二派あり[illegible]は直接に佛立講は法華宗[illegible]せぬもの[illegible]遠い等と人を惡口をするものでない目蓮上人の御精神の在る處を奉體して眞人間になられよ同胞に此人あるを悲しむ嗚呼南無妙法蓮華經(日蓮宗末葉者)



大阪商船仁川出帆

外航航路(遠洋航路を除く)中沿岸各港の寄港並出帆は都合により變更あるべし

△神戸、大阪行
ㅅ信ノ川丸 九月十二日 後二時出帆
△汕頭丸 九月十七日 後二時出帆
●南浦、神戸、大阪行
×汕頭丸 九月三日 後二時出帆
●木浦、釜山、厳原、鄕の浦、長崎行
×安東丸 九月五日 後二時出帆
×安東丸 九月廿三日 後二時出帆
○横濱行
×福州丸 月 日 後二時出帆
△汕頭丸 月 日
●南浦行
×汕頭丸 九月十四日 後二時出帆
●鎮南浦、大連行
×安東丸 九月十八日 後二時出帆
×安東丸 十月六日 後二時出帆
●西湖津新浦城津清津行(元山出帆)
宮島丸 九月二十日 後十二時出
●濟州行(元山出帆)
安平丸 九月十四日 後十二時出
●上海、基隆、打狗行(大連出帆)
基隆丸 九月十三日 前五時出帆
湖北丸 九月廿七日 後四時出帆

御注意 ●印は郵便航路及び南洋航路なり[illegible]
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店
切符發賣所 内國通運會社京城支店
切符發賣所 仁川京城通り 開城旅館

仁川 共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行
第廿共同丸 九月五日午後入港 九月七日午前十時出帆
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社 京城南大門通(電話一九五三番)

京城より各地經由雄基行
×京畿丸 九月廿三日
×忠清丸 九月九日
×成鏡丸 九月十八日
平壤丸 九月十四日 釜山發
但し×印あるは江原道各港に寄港せず
○元山より各地經由雄基行
×京城丸 九月五日
城津丸 九月六日
三浦丸 九月三日 元山發
○浦項行(元山より城津浦項經由)
平安丸 九月 日 元山發
○元山長箭間
咸鏡丸 九月五日
咸興丸 九月九日
慶興丸 九月十四日 元山發
○釜山元山間
慶寶丸 九月十日 釜山發
九月四日 元山發
○鬱陵島行浦項及各地經由
登徳丸 九月七日 釜山發
○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由)
江陵丸
襄陽丸 毎日 釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 九月五日 釜山發
○麗水行(各地經由)
濟州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
統營丸
○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
順天丸 南陽丸 三日目毎に木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
公州丸 九月五日
西廻 慶興丸 九月七日 木浦發
○多島海各島行
慶興丸 九月十二日 木浦發
○木浦行(群山其他各地經由)
晉州丸 九月七日
麗水丸 九月十二日 仁川發
○鎮南浦行(海州其他各地經由)
宗信丸 九月八日 仁川發
○海州行(江華島喬桐島經由)
全州丸 錦江丸 毎日 仁川發
○南島行(芝罘、大連經由)
江原丸 九月十一日 仁川發
但し三十一日江原航

商況

大阪期米特電
下關期米特電
伸び悩む
(以下[illegible])